

問題

■ 背景

- 18歳人口が減少し、進学者数も減少するとの懸念
- 大学は進学者獲得に向け、入試広報に注力
- オフラインイベントだけで認知してもらうことは困難
- デジタルマーケティング(Kannan & Li, 2017)が求められる
 - ▶ 身近なオンラインツールとしてLINEスタンプ
- LINEスタンプを使う理由 (山崎他, 2021)
 - ▶ 例：気持ちを伝えるために
- しかし、使われやすい言葉に関する研究は少ない



■ 目的

- 目的1：LINEスタンプの言葉の推定使用率
LINEスタンプのどの言葉が日常的に使われやすいのか？
- 目的2：代表的な言葉を基準とした推定使用率の差異
「ありがとう」と比べて、他の言葉はどれくらい使われやすいのか？

方法

■ オンライン調査

- 実施時期：2025年6月
- 参加者：271名
 - ▶ 平均年齢 20.98歳 (SD = 7.37)
 - ▶ 男性96名、女性158名、未回答17名
 - ▶ 高校生79名、大学生142名、社会人49名、未回答1名

■ 測定指標

- 各言葉に対する使用頻度

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| 1. ありがとう | 2. 感謝 | 3. おつかれさま |
| 4. おはよう | 5. おやすみ | 6. いいね |
| 7. すごい | 8. 了解 | 9. がんばって |
| 10. 応援してる | 11. 大丈夫 | 12. なんてやねん |

- 5件法 (1 = 全く使わない, 5 = よく使う)

■ ロジスティック回帰分析

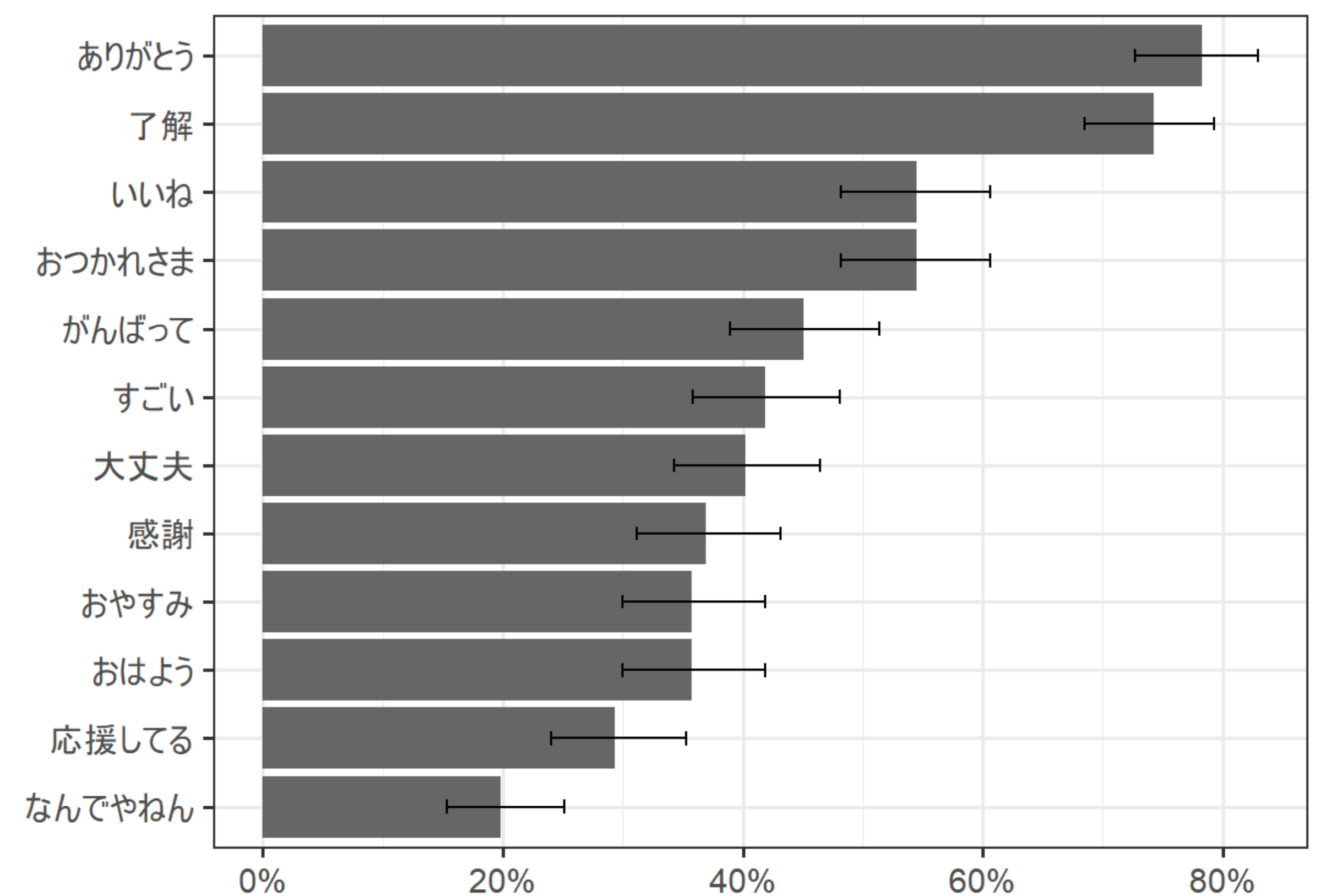
- ある出来事が起こるかどうかを確率として予測する手法

- ▶ 例：スタンプが使われたか・使われなかったか
- ▶ 各言葉が「使われる確率」を統計的に推定し、人気の高い言葉を定量的に把握可能

- 各言葉の「使う/よく使う」=1、その他=0 の二値に変換
- 各言葉の推定使用率（確率）と95%信頼区間を算出
- 「ありがとう」を基準に他の言葉の相対的な推定使用率を算出
※モデルには性別・年齢・社会的カテゴリを共変量として投入

結果と考察

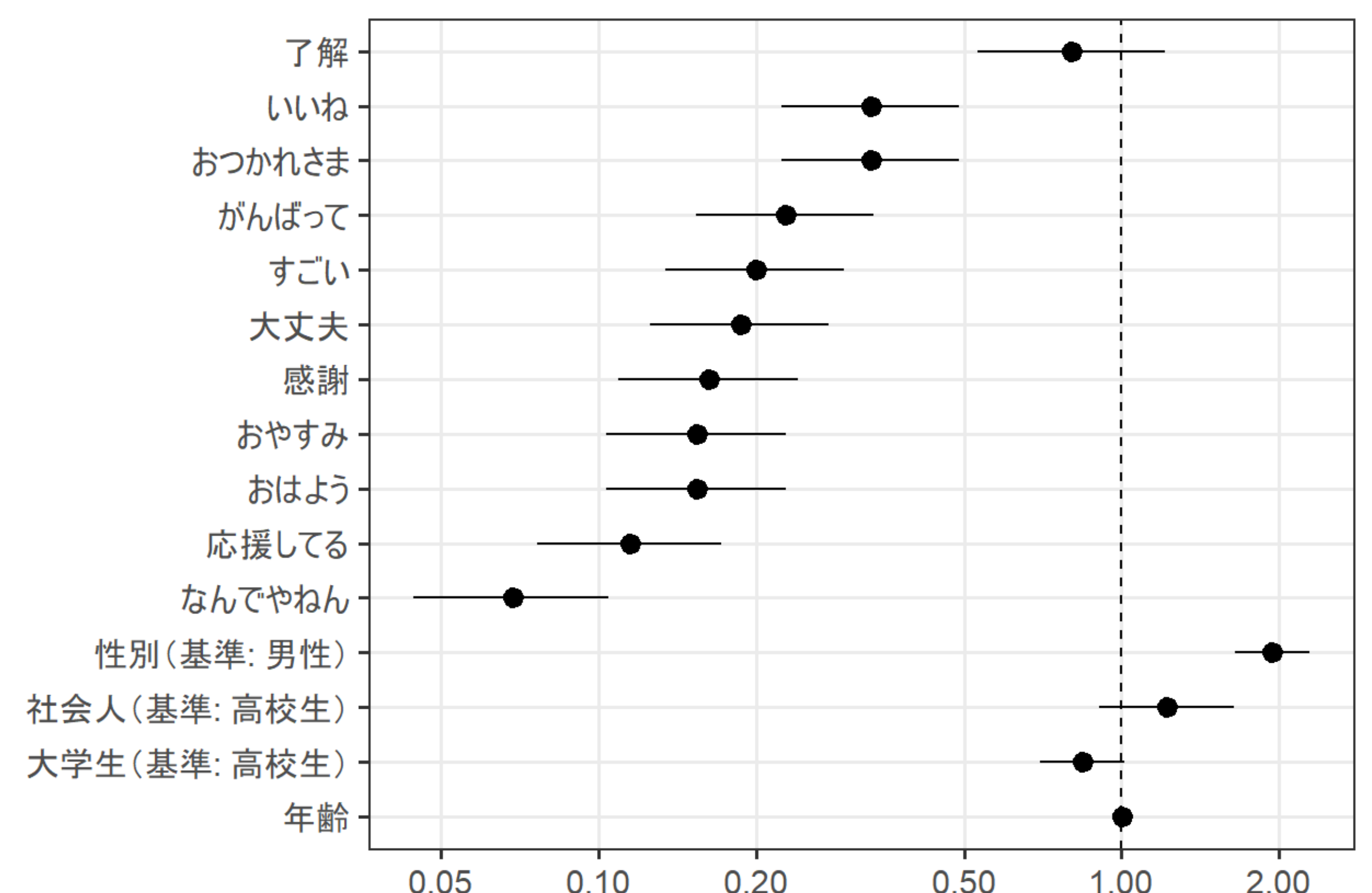
■ 目的1：LINEスタンプの言葉の推定使用率



- 「ありがとう」「了解」は70%を上回る推定使用率
- 「いいね」「おつかれさま」なども40～50%の推定使用率
- 「応援してる」「なんてやねん」の推定使用率は低かった

▶ 日常的で親しみやすい言葉ほど、スタンプとして使われやすい

■ 目的2：代表的な言葉を基準とした推定使用率の差異



「ありがとう」に比べて

- 「了解」のみが同程度の推定使用率 (OR = 0.80)
- 「いいね」「おつかれさま」は約3分の1の推定使用率 (OR = 0.33)
- 「がんばって」「すごい」等は約15～23%程度の推定使用率
- 「なんてやねん」や「応援してる」は10分の1以下の推定使用率
- 性別が約2倍の推定使用率
- 社会的カテゴリや年齢はあまり関係なし (p > .05)

▶ 「ありがとう」に比べて、「了解」は同じくらい使用されく、「いいね」「おつかれさま」などもまだ使われやすいものの、「応援してる」「なんてやねん」は使われにくい

TAKE HOME MESSAGE

- LINEスタンプデジタルマーケティングの第一歩は“ありがとう”から
- 地域色のある or フォーマルな言葉より、日常で使われる言葉を
- あたたかい大学ブランドのイメージが広がっていく可能性